

1.3.1.1-01

尊敬語・謙讓語・丁寧語の 使い分けと動詞一覧表

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

尊敬語・謙讓語・丁寧語を合わせて敬語と呼びます。その違いを以下のように説明します。

「尊敬語」：自分側のポジションは変えずに、相手方のポジションを高める言葉

相手を主体とした相手を立てる言葉

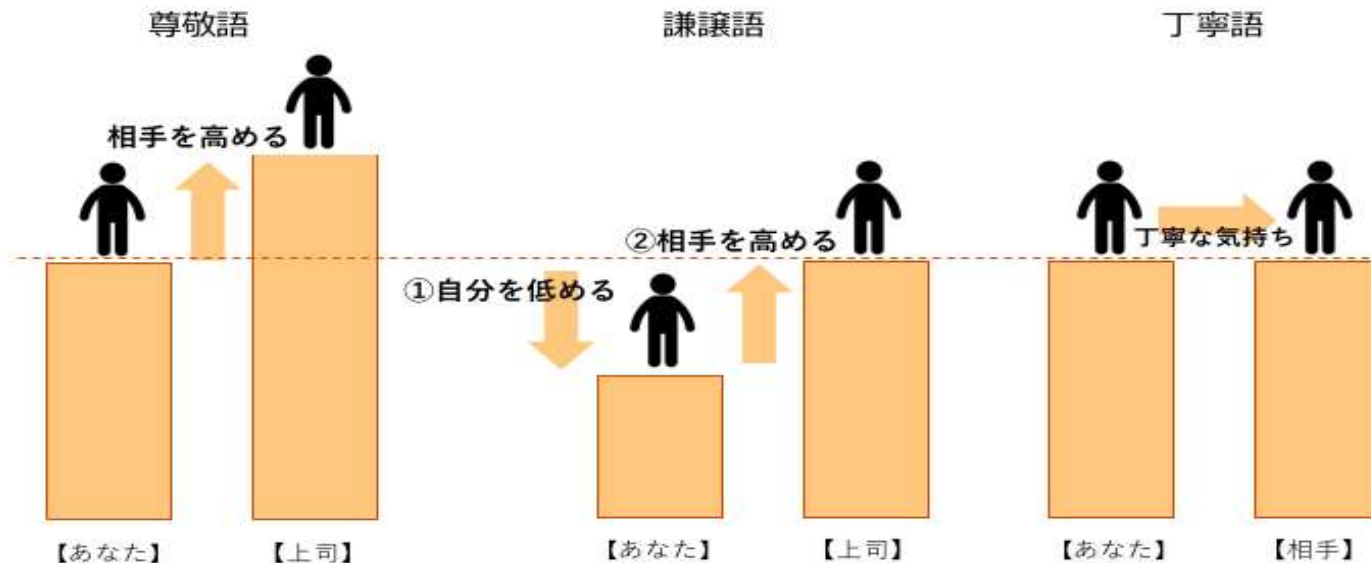
「謙讓語」：自分側のポジションを低めることで、相手方のポジションを相対的に高める表現

自分を主体とした自分をへりくだる言葉

「丁寧語」：お互いのポジションは変わらず丁寧な気持ちを表現する言葉

丁寧な言い回しとなる丁寧語

【尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い（イメージ）】



1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

尊敬語の定義と形式

★尊敬語の定義：

敬語の一で、話し手が聞き手や話題の主、また、その動作・状態などを高めて待遇することを言い表すもの。「いらっしゃる」「めしあがる」などの敬語動詞、接辞「お」「ご」（「お荷物」「御主人」）、助動詞「れる」「られる」や補助動詞「お…になる」（「書かれる」「お読みになる」）などがある。

——小学館「大辞泉」から引用

尊敬語では、Nが動作や状態の主体であり、Nに敬意を表わします。
尊敬語の形式について説明します

<1> 尊敬語独自の動詞を使うもの

(Nは／が)	V (尊敬語独自の動詞)	ます
--------	-----------------	----

「知っている」の尊敬語「御存じだ」は「名詞+だ」であり、丁寧形も「御存じです」となります。

例文：山田さんはおそばを召し上がりました。

<2> 「おVになる」の形を取るもの

(Nは／が)	お・V(連用形)	になります
--------	----------	-------

ただし、「来る」「する」とグループ2で語幹が1音節の動詞（「いる」・「見る」・「着る」など）は、「おVになる」になりません。また、2音節以上の動詞でも、尊敬語独自の動詞がある場合にはふつつこの形を取りません。

例文：田中さんは毎朝、新聞をお読みにになります。

<3> 「Vれる／Vられる」の形を取るもの

(Nは／が)	V	れます (グループ1・する)
		られます (グループ2・くる)

「Vれる／Vられる」は、普通形の否定形から「ない」をとった形に「れる」や「られる」をつけます。
ただし、「できる」「わかる」や可能形は「Vれる／Vられる」の形を取りません。
ただし、「する」は「される」という形になります。

例文：中田先生がこの本を書かれました。
あの方は東京駅で降りられます。

敬語は基本的に次のようなときに使われます。

- ・目上の人（店員から客、学生から教師、職場の上司、年上の人など）と話すとき
- ・知らない人や親しくない人と話すとき
- ・改まった場面で話すとき

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

尊敬語の定義と形式

<4> 名詞や形容詞を用いた尊敬語

①「こちら、あちら、～さん、～様」など、その名詞で表わされる人物を高める名詞を用いる。

例文：

あちらは山田様です。

②「お」「ご」を名詞の前につけて、その名詞の(広い意味での)所有者を高める。

原則として、「お」は和語、「ご」は漢語につきます。例外(*)もあります。

- ・「お」がつくもの：お名前、*お宅、お仕事、お部屋、*お時間、*お電話、*お客 など
- ・「ご」がつくもの：ご住所、ご両親、ご兄弟、ご家族 など

例文：

あなたのお**仕事**は何ですか。

ご家族はどちらにいらっしゃいますか。

③「お」「ご」を人の状態を表わす形容詞の前につけて、その状態の主体を高める。(原則は②に同じ)

- ・「お」がつくもの：お忙しい、おひま、お寂しい、お早い、*お元気 など
- ・「ご」がつくもの：ご多忙、ご心配、ご不満、ご満足 など

例文：

先生は来週も**お忙しい**ようです。

先生は来週も**ご多忙**のようです。

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

謙讓語の定義と形式

★謙讓語の定義：

話し手が、自分または自分の側にあると判断されるものに関して、へりくだった表現をすることにより、相対的に相手や話中の人に対して敬意を表すもの。特別の語を用いる場合（「わたくし」「うかがう」「いただく」など）、接辞を付加する場合（「てまえども」など）、補助動詞などの敬語的成分を添える場合（「お…する」など）がある。謙遜語。

—— 小学館「大辞泉」から引用

謙讓語は、動作の主体（N）を低めることによって、相対的に動作の受け手に敬意を表わします。
謙讓語の形式について説明します。

<1> 謙讓語独自の動詞を使うもの

(Nは／が)	V (謙讓語独自の動詞)	ます
--------	-----------------	----

例文：わたしはきのう渡辺社長のお宅を**拝見**しました。
お話を**拝聴**いたしました。

※「拝○する」は、相手に関わりのあるものを扱う場合に使う。

<2> 「おVする」「ごVする」の形を取るもの

(Nは／が)	お ご	N (動作を表わす漢語名詞)	V します
--------	--------	----------------	----------

「おVする」「ごVする」の形になるのは、Vが「案内する、紹介する」のように漢語動詞の場合です。「相手のために自分がしてあげる」の意味で使うことが多い。

例文：わたしがかばんを**お持ち**します。
係員が**ご案内**します。

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

丁寧語の定義と形式

★丁寧語の定義：

話し手が聞き手に対し敬意を表して、丁寧にいう言い方。現代語では「ます」「です」などの助動詞、古語では「はべり」「候ふ」などの補助動詞をつけていう。

「（で）ございます」は「ます」「です」よりも高い敬意を表す。

——小学館「大辞泉」から引用

丁寧語の作り方をまとめておきます。

<1>丁寧語の動詞を使うもの

(Nは/が)	V N(動詞)	ます
--------	------------	----

例文：明日の予定は、キャンセル**します**。

<2>丁寧語の動詞を使うもの

(Nは/が)	V N(名詞)	です ございます
--------	------------	-------------

例文：企画部**です**。

企画部で**ございます**。

日常的な表現	敬意のこもったビジネス的な表現
今日	本日
明日(あした)	明日(みょうにち)
あさって	明後日(みょうごにち)
さっき	さきほど
あとで	のちほど
あっち こっち そっち どっち	あちら こちら そちら どちら
どうやって	どのようにして
どう	いかが

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

ビジネスシーンの使用上の注意点

★敬語を使うときに注意しなければならないのは、「ウチ」と「ソト」の概念です。

高めるべき順番は「ソト>ウチ」であり、この図式を守って使ってください。

◇日本語では家族以外の人との会話の中で家族を高める表現を使いません。

これは、家族を「ウチ」として扱っているからです。「ソト」に対して話すとき、「ウチ」の者を高めることはしません。

◇自分の所属する集団・会社・組織などに属する人について、「ウチ」として扱うことです。

例文：

（他社の社員）：渡辺社長はいらっしゃいますか。

（渡辺の部下）：渡辺はただいま外出して**おります**。

⇒

- ・会社では社外の人との会話では自社の社長について述べるときも謙讓語を使うのがふつうです。
- ・この敬語の使い方だと「社外>社内」となることです。

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

『参考』 尊敬語、謙讓語、丁寧語の動詞一覧表

基本形	尊敬語	謙讓語	丁寧語
使用方法	目上の人を使う。相手を立てるときに使う。	自分をへりくだるときに使う。自分がへりくだることで、相手を立てる。	聞き手に対して丁寧に述べる言葉。「です」「ます」「ございます」を付けて使う。相手・内容を問わない。
行為をする人	相手	自分	問わない
する	なさる、される	(自分が一方的に行う行為の場合) いたす (相手からの許可や好意により恩恵を受ける行為の場合) させていただく	します
いる	いらっしゃる、おいでになる	おる	います
行く	いらっしゃる、おいでになる	うかがう、参る	行きます
来る	いらっしゃる、おいでになる、見える、お越しになる	参る、伺う	来ます
会う	お会いになる、会われる	お目にかかる	会います
帰る	お帰りになる、帰られる	おいとまする	帰ります
知る	お知りになる、ご存じだ	存じる、存じ上げる、承知する	知っています
思う	お思いになる、おぼし召す	存じる、拝察する	思います
言う	おっしゃる、言われる	申す、申し上げる	言います
聞く	お聞きになる	拝聴する、うかがう	聞きます
食べる	召し上がる、おあがりになる	いただく、頂戴する	食べます
考える	お考えになる、ご高察なさる	拝察する、検討いたします	考えます
見る	ご覧になる	拝見する	見ます
伝える	お伝えになる	申し伝える	伝えます
わかる	おわかりになる、ご理解いただく	かしこまる、承知する	わかりました
与える	くださる、お与えになる	差し上げる	あげます
読む	お読みになる	拝読する	読みます
座る	お掛けになる	お座りする、座らせていただく	座ります
受け取る	お受け取りになる	賜る、頂戴する、拝受する	受けとります
利用する	ご利用になる	利用させていただきます	利用します
買う	お買いになる、お求めになる	買わせていただく	買います
待つ	お待ちになる、お待ちくださる	お待ちする	待ちます

1.3.1.1-01_尊敬語、謙讓語、丁寧語の使い分けと動詞一覧表

参考出典情報:

東京外国語大学で纏めている「東京外国語大学言語モジュール」の
文法上の作り方

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ja/gmod/contents/explanation/092.html>